

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 313 号	氏名	山田 舞子
学位審査委員		主 査	佐々木 均
		副 査	森内 浩幸
		副 査	宮崎 泰司
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、従来の <i>P. aeruginosa</i> の検出・同定法に対し、特定遺伝子の real-time PCR-MCA (melting curve analysis) を応用し、臨床検体からの迅速で簡便な検出法確立を目指したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 今回、進化速度が速く菌種の差別化が明確な <i>gyrB</i> gene に着目し、real-time PCR-MCA 法を開発しており、検体のバックグラウンドの除去や定量の特異性を配慮した研究デザインが行われている。また、多数の培養株および臨床検体を対象に、開発した real-time PCR-MCA 法と現行の自動同定分析機器 VITEK2 との結果を比較して解析しており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 今回開発した real-time PCR-MCA 法は、3 時間の簡便な操作で検出が可能であり、従来の培養法に比較し、迅速性・簡便性ともに優れていた。新しい real-time PCR-MCA 法は、従来法と比較し、培養株に対する診断一致率は 99.1% と極めて良好であった。また、乖離例を精査し、real-time PCR-MCA 法の診断の正当性を証明した。さらに、開発した real-time PCR-MCA 法は、臨床検体に対しても高い診断一致率を示した。その他、メタロβラクタマーゼ遺伝子に着目し、同様に耐性菌の検出法も開発した。今回確立した、real-time PCR-MCA 法は極めて有用性が高く、今後の感染症研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は感染症研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			